

教育支援人材の育成と地域課題の  
マッチングに関する報告  
-一般社団法人「教育支援人材認証  
協会」の取り組みを中心に-

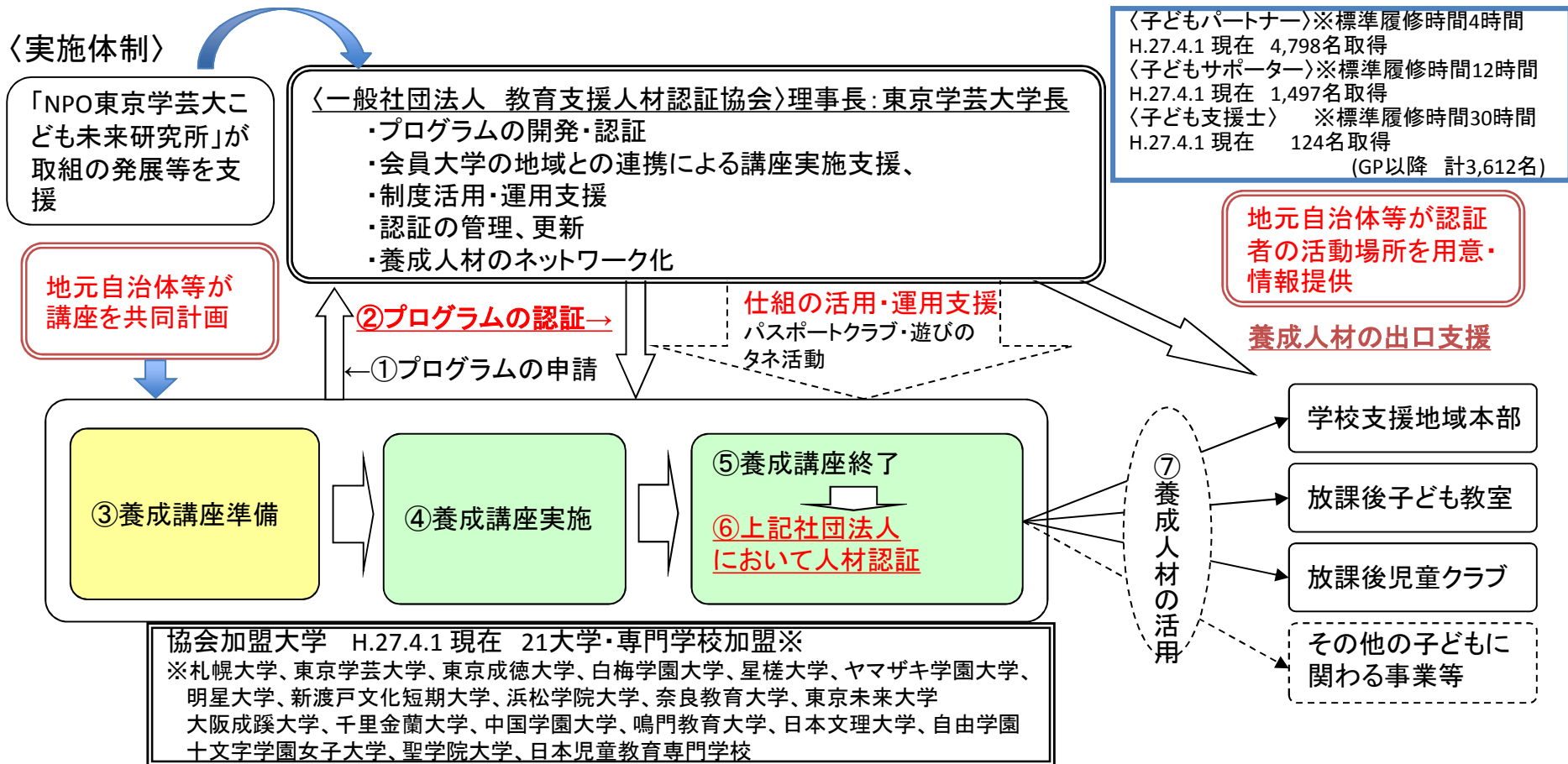
平成27年6月18日

東京学芸大学 松田恵示

**（社）教育支援人材認証協会 「教育支援人材認証制度」**

大学間連携により設置した一般社団法人が中心となり、**地域で子どもの教育活動を担う学生・住民の活動を支援するため、一定の受講経験や活動経験を評価・認証する、「教育支援人材認証制度」を構築。**認証者の活動現場は、地元自治体を用意したり、**一般社団法人がプラットフォームとなって地域課題解決のために、地域と連携を図りつつ運用。**

**〈実施体制〉**



**〈期待される効果の一例〉**

- **大学をプラットフォームにして生涯学習を通じた地域づくりに貢献**（地域で学びを通し子どものサポートに協力できる市民・学生人材を育成）
- **大学と地域との連携事業の拡大**（子どもをサポートする事業を協働して実施でき、サポーターの学びを地域課題の解決につなげやすい）
- **学部教育、キャリア教育の一環として有効**（学生が認証取得後にボランティアとして活動。顕彰制度を今後展開の予定）

# 認証制度の特徴

- 一般社団法人「教育支援人材認証協会」が認証主体
  - 大学の集まりによる「持続性」と講師人材からの「質担保」
  - 専門学校等、教育機関の参加
  - 企業等の参加
- 講座内容設定における行政、団体、地域住民との連携
  - 「理論」からの「実践」をベースとした「共創型、ネットワーク型」の講座内容の設定
  - 「地域課題へ対応」と「学びの共通性」の両立
- 地域の拠点としての大学の活用
  - 学生と地域住民の「学びの共有」の機会(過程の共有体験)と、地域での活動への人間関係づくり
  - 学生や住人の地域アイデンティティの形成

子どもパートナー ※（必要時間 4時間以上）			
領域	要素		主な学域の例
こどもに関わり合う力	支援者とは	こども支援者が必要となる社会背景とその意味・役割について理解する。こどもパートナーの理念と役割について考察する。	教育学 こども支援学 教育社会学
	こどもの理解	こころ・社会・保育・保健などのアプローチからこどもについて理解を深める。	児童心理学、教育学、保育学 障がい学、児童福祉学、保健学
	こどもを取り囲む環境	現代のこども事情とこどもを取り巻く様々な環境についての理解を深める。	こども社会学、環境学、家族臨床学、児童福祉学、情報科学、教育学、保育学、政策学、児童文化論
	こどもとの接し方	発達段階や特別なニーズのあるこどもへの支援について理解したうえで、コミュニケーションをとるための知識や技法、配慮事項を学修する。	こども支援学、教育学、心理学、児童福祉学、障がい学、保育学、ジェンダー論

# こどもサポーターの特徴

- 「こどもサポーター」では、教育支援活動において教育支援者が自己PRできる、「焦点づけた支援活動の内容」を、「こどもサポーター(〇〇〇)」として括弧書きします。
- 例えば「こどもサポーター(特別支援教育)」「こどもサポーター(伝統芸能)」「こどもサポーター(放課後子ども教室)」などです。
- 地域や大学の実情や特性に応じてプログラムをご計画ください。
- 他の認証・資格と連携して「こどもサポーター(▲▲▲)」というプログラムを検討することも可能です。

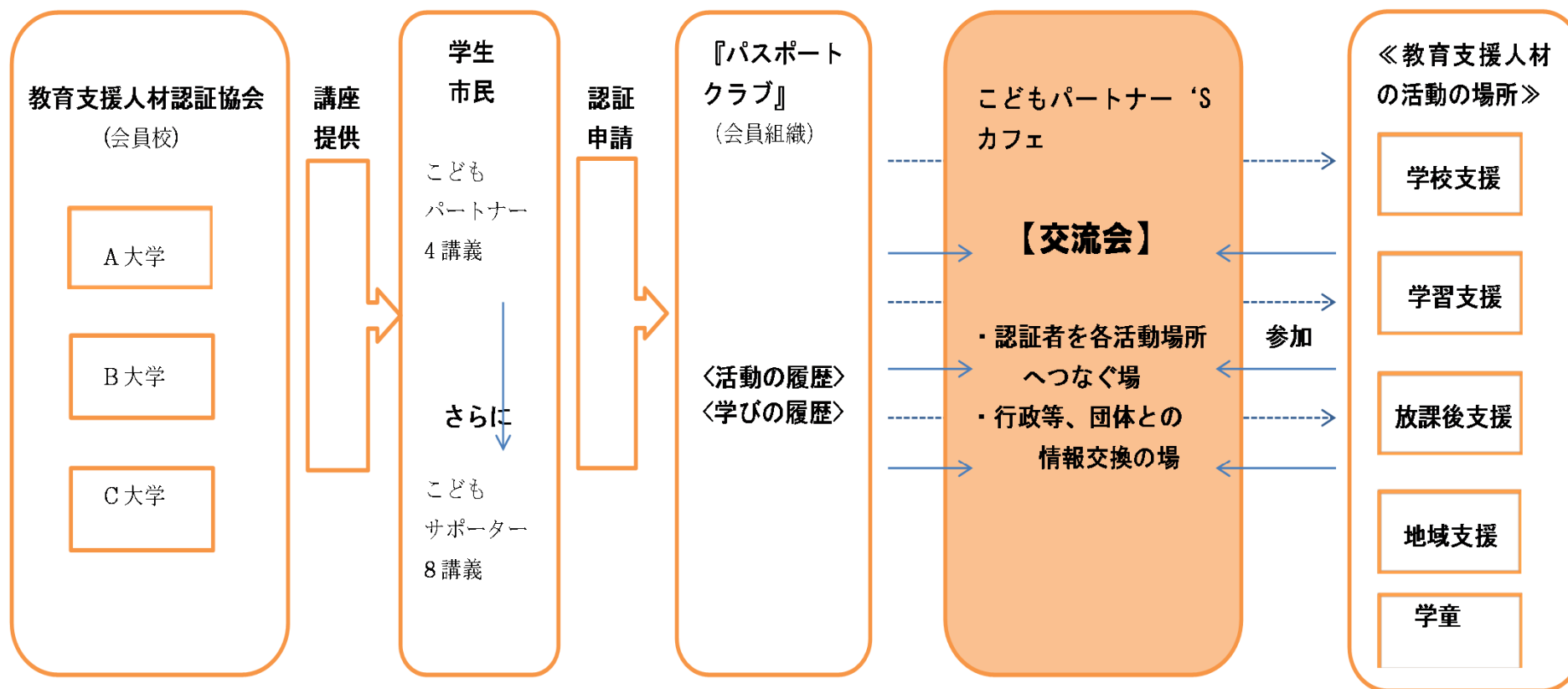
例. 青少年体験奨励制度、子育て支援員

こどもに関わる力+子どもに伝える力(計6時間)受講  
→こどもサポーター(青少年体験奨励コーチ)

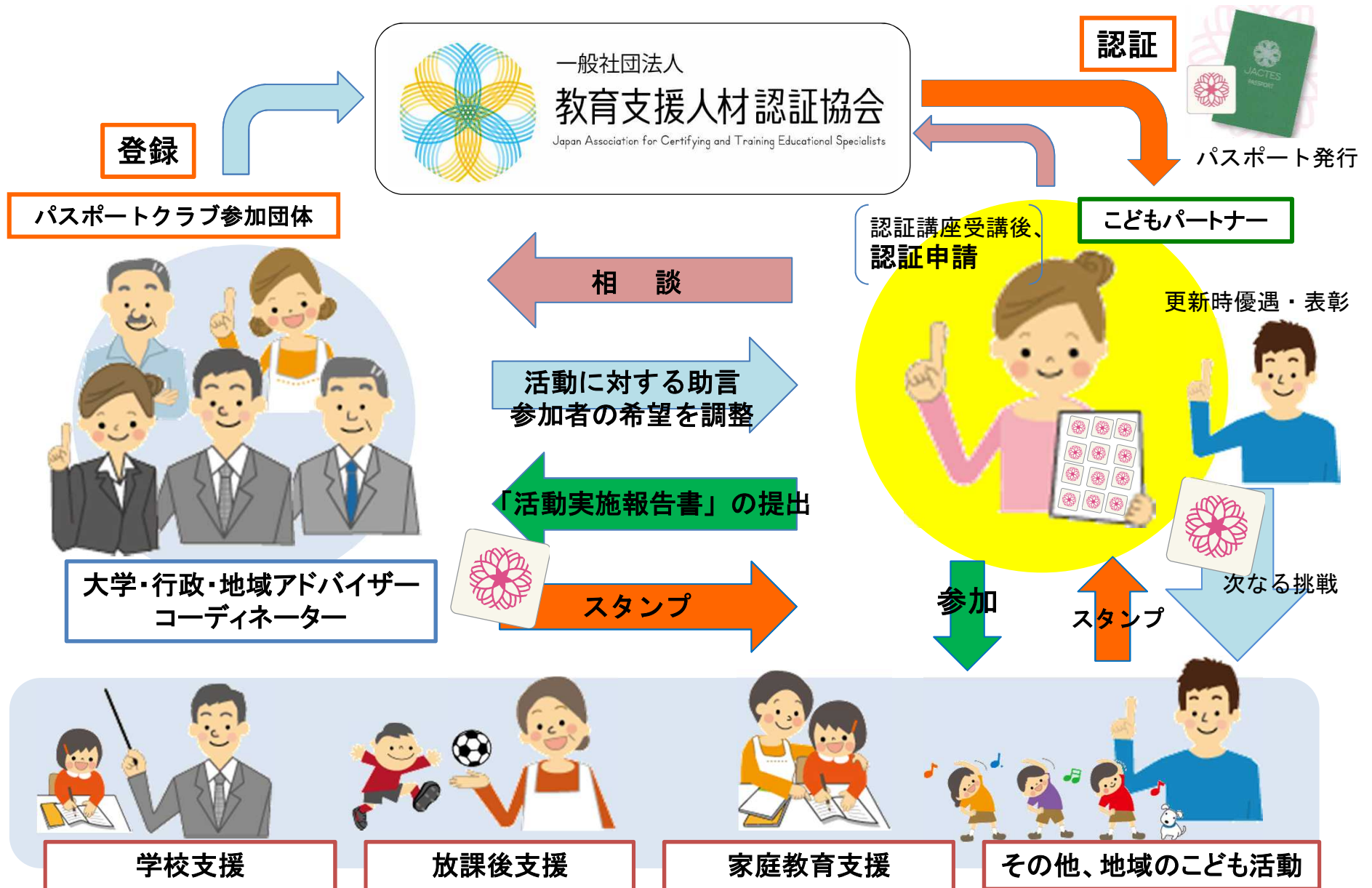
こどもサポーター ※（必要時間 12時間以上）				
領域	要素		時間	主な学域の例
こどもに関わり合う力	「こどもパートナー」の4要素		4時間以上	「こどもパートナー」に準じる。
子どもと伝え合う力	支援活動の具体に焦点づけた専門的内容	サポーターとしてPRできる伝える内容についての知識・技能など	8時間以上	内容に応じた専門学域
	こどもに伝える方法	表現、理解、フィードバック、人とのつなぎ、話し方など		
自身の活動を振り返る力	自己評価と集団形成	自らの行動を振り返り修正することの意味や方法についての理解。他者と連携することの大切さや方法についてなど。		内容に応じた専門学域



## 教育支援人材認証講座受講者の流れ



# パスポートクラブの流れ





# 「パスポートクラブ」から広がる出会いと活動

## ＜実践事例 一部紹介＞



### 地域団体との活動

- キッズカーニバル (小金井市 小金井青年会議所)
- 東京おもちゃショー (NPO法人東京学芸大こども未来研究所)
- わんぱく広場 (足立区 冒険遊び場の会)
- ギャラクシティあそびフェスタ他 (足立区 青少年課) など

### 学生と地域の連携

- 学生ボランティア (大阪成蹊大学 芸術学部)
- 学生ボランティア (新渡戸文化短期大学)
- 学内施設:こどもモードハウス 補助スタッフ (東京学芸大学) など

### 活動報告申請

(近くにシール設置団体がない場合はレポート提出で申請可)

- 体育指導員 (大阪府)
- わくわくひろば (神奈川県)
- スクールサポーター (大阪府)
- まちの先生 (大阪府) など

「パスポートクラブ」の詳細は、  
パンレットをご覧ください ▶▶▶▶▶



個人用



団体用



# 「パスポートクラブ」シール設置団体

・【徳島県】社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会

## 【千葉県】

- ・ 八千代市役所 生涯学習部生涯学習振興課
- ・ 地域子育て支援センターすてっぷ21勝田台
- ・ 地域子育て支援センターすてっぷ21大和田
- ・ 八千代市役所 子ども部元気子ども課
- ・ 新川わくわくプレーパーク

## ・【奈良県】

NPO法人 奈良地域の学び推進機構

奈良教育大学

大阪成蹊大学 芸術学部

千里金蘭大学

大阪国際大学

## 【大阪】

- ・ NPO法人 SEAN
- ・ (特非) きららの木
- ・ 子育て支援NPOキッズファインカラー
- ・ 笠岡ゆうゆうクラブ

日本文理大学

中国学園大学

鳴門教育大学

浜松学院大学

## 【東京】

- ・ NPO法人 ワーカーズコープ
- ・ 足立に冒険遊び場をつくる会
- ・ 特定非営利活動法人 足立区地域で子どもを育てる会
- ・ 足立区子ども家庭部青少年課

自由学園

日本児童教育  
専門学校

## 【東京】

- ・ 黄金ネットワーク～障がい児の父親の会～
- ・ 小平市国際交流協会
- ・ NPO法人 冒険遊び場の会
- ・ NPO法人 ユーパーク
- ・ 子育てサロン@SACHI
- ・ 特定非営利活動法人 遊び文化NPO小金井こらぼ
- ・ 特定非営利活動法人 こがねい子ども遊パーク

## 【北海道】

- ・ (福)北海道クリスチャンセンター福祉会
- ・ ねこぼこのいえ
- ・ 豊平区役所市民部西岡まちづくりセンター
- ・ 豊平区役所市民部地域振興課
- ・ 豊平区役所保健福祉部健康・子ども課
- ・ (特非)北海道障がい者乗馬センター
- ・ 児童サービスセンター 悠々クラブ
- ・ 児童サービス 愛愛倶楽部
- ・ NPO法人札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ
- ・ 札幌大学女子短期大学部

札幌大学

東京成徳大学

新渡戸文化短期大学

白梅学園大学

東京学芸大学

十文字学園女子大学

ヤマザキ学園大学

星槎大学

聖学院大学

明星大学 教育学部

東京未来大学

NPO法人 東京学芸大こども未来研究所

## 【東京】

- ・ NPO法人アクティブシニア応援団
- ・ NPO法人トーータルサポート府中
- ・ NPO法人ライフデザイン推進協会
- ・ 外遊び喜び総合研究所
- ・ NPO法人地域子育て支援センター
- ・ NPO法人府中YSS
- ・ NPO法人じーばーとあそぼPPK
- ・ NPO法人地域教育ネット
- ・ NPO法人アクティブジュニアクラブ
- ・ 小金井青年会議所
- ・ 小金井ボランティアセンター
- ・ 日本女性学習財団
- ・ ひの教育センター

# 「学び」と地域課題のマッチング

- 講座内容設定に関する大学と地域との協働
- パスポートクラブ
- パートナー’S カフェ (サロンの設置・交流会)
- 共通化する地域課題への取り組みと支援現場の創出(青少年体験奨励制度の取り組みへの接続・「活用」から「参加」へ)
- 学校との連携の拡大、事業のネットワーク化(尼崎市、中央区、足立区等での取り組み)

# 事業を展開させるなかで

- 地域課題としての「教育的ニーズ」を明確に捉えることを地域とともに行なうこと
- 生涯学習の活用は、「学び→活用」のリニア型発想ではなく、「『課題①→学び①→活用①』⇔『課題②→学び②→活用②』⇔∞」のスパイラル型発想で
- 学校(実践・現場)との連携は「プロセスの共有」が必要、加えて「ICT」は学校は大の苦手
- 「学び」や「認証・資格」の質保障は、「内容」側面に比べて「講師」側面が大きいのでは
- 第三者機関としての大学連携団体(信頼)の活用